

品番	器具質量	適合ランプ (別売)	適合リフレクター (別売)	オプション(別売)			適合埋込ボックス (別売)
				レンズ	スモート	ガード	
YYY37720	5.0kg	70形 セラメタプレミアS	YYY95101 (10°タイプ)	スプレッドレンズ: YYY95115	YYY97120 (ミディアムグレイ メタリック)	YYY97130 (ミディアムグレイ メタリック)	据置取付用埋込ボックス YYY90165
YYY37721			YYY95102 (20°タイプ) YYY95103 (30°タイプ)	ディフューズレンズ: YYY95116	YYY97121 (シルバー メタリック)	YYY97131 (シルバー メタリック)	

・器具の取付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

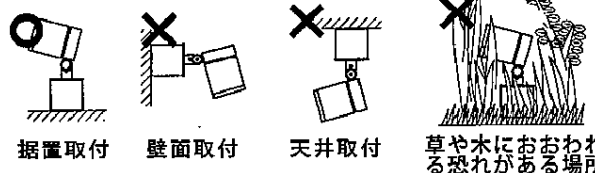
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

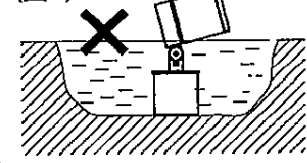
⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にこなす。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具表示及び取扱説明書に従って、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用しますと、火災の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%) 以外の電源で
使用しない。
火災・感電の原因となります。
- 据置取付専用器具です。指定以外の取付け又は適合埋込
ボックス以外で使用しない。
火災・感電・落下・浸水の原因となります。(図1)
- 器具を改造しない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 一般屋外用器具(防雨型)です。振動や衝撃の強い場所、浴室など湿気の多い場所、
腐食性ガスの発生する場所、塩素を使用する屋内プール等、海岸隣接地帯では
使用しない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 大雨等で冠水する恐れのある場所、くぼ地等の水のたまる場所には
設置しない。
浸水による火災・感電の原因となります。(図2)
- 結線ボックス内で結線を行なう。
埋込ボックス内で結線すると感電の原因となります。
- 器具の耐風速は60m/sです。これ以上の風速の影響を受ける
場所では使用しない。
落下の原因となります。
- 器具と被照射面は1.0m以上離す。
火災・変色の原因となります。(図3)
- 接地工事は電気設備の技術基準にしたがって確実にこなす。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 口出し線との接続は、スリーブ等により確実に行き、自己融着テープを巻いて
から、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
接続に不備があると感電の原因となります。

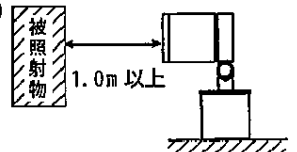
(図1)



(図2)



(図3)



⚠ 注意

- 周囲温度は、35℃以上で使用しないでください。火災またはランプ短寿命の原因となります。
- 前面ガラスは高温となりますので人が容易に触れる恐れのある場所では使用しないでください。やけどの原因となります。
- 漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。漏電ブレーカの誤動作の原因となります。
1) ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
2) 単相3線200Vで片切りスイッチを使用する場合は、ランプ点灯時よりも消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
注) 無負荷時の漏洩電流の測定は、点灯時の漏洩電流測定後に下記の方法で行ってください。
消灯後、(ランプ装着状態で)約5秒後にスイッチを入れ、点灯(放電)開始までの間に測定する。

使用上のご注意

- ご使用中にガラスが若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので
柔らかい布等で拭いてからご使用ください。
- 昼夜の温度差などによりガラス内面に結露を生じる場合がありますが、異常ではありません。
点灯すれば解消しますので予めご了承ください。

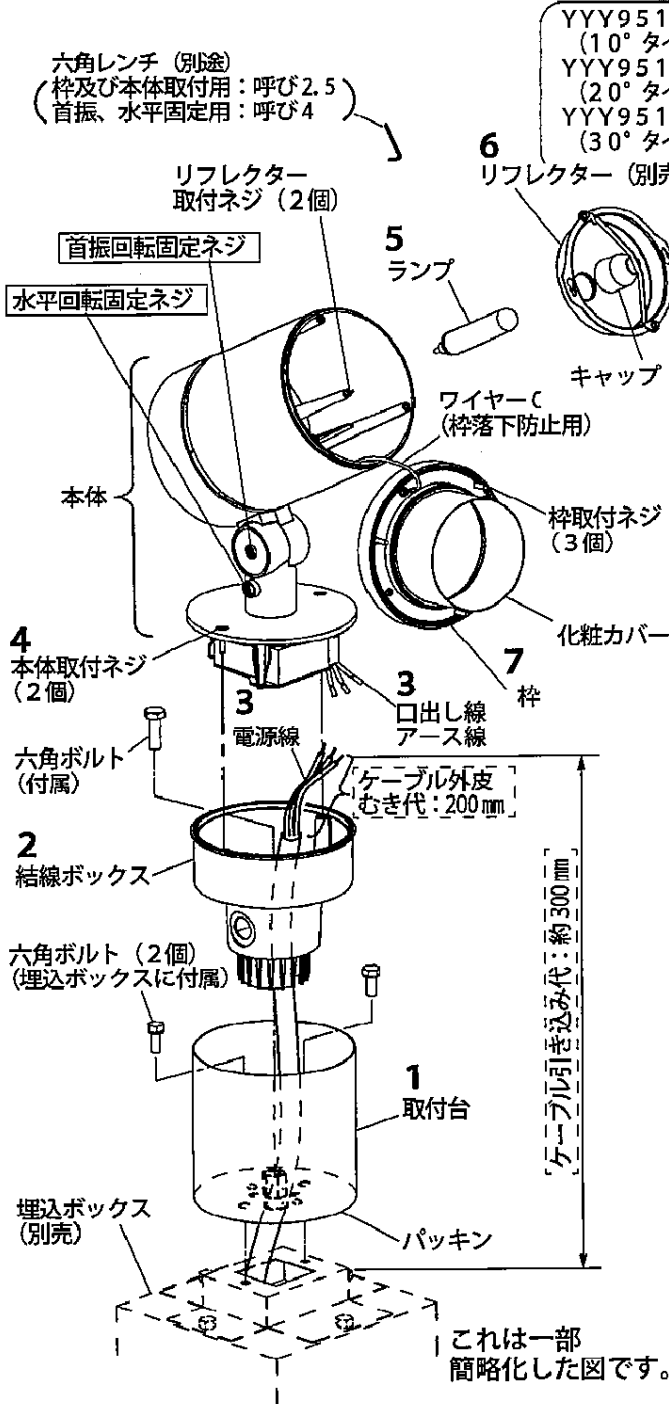
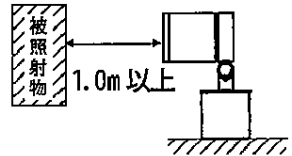
各部のなまえと取付け方

⚠ 警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実にこなう。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

⚠ 警告

照射物・照射面とは1.0m以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

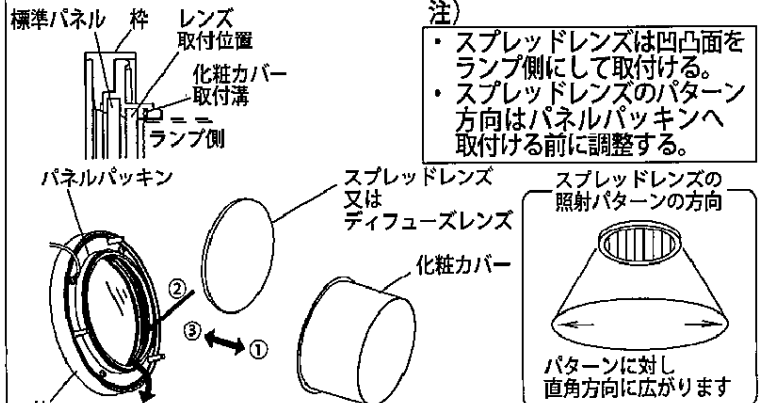


適合オプションについて

・下記のオプション (別売) が取付可能です。

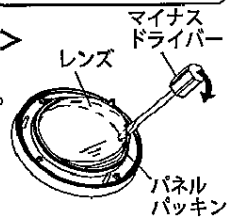
スプレッドレンズ・ディフューズレンズ

注) レンズの同時取付けはできません。



＜レンズの取付け・取りはずしについて＞

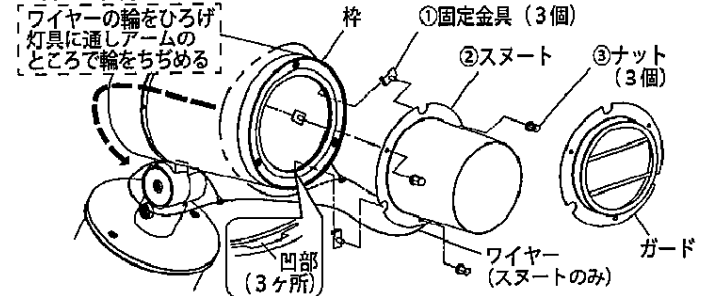
- ①化粧カバーを取りはずす
・パネルパッキンをめくりながら取りはずす。
- ②レンズ (別売) を取付位置にはめ込む
- ③化粧カバーを元の位置にはめ込む
・取りはずす時はレンズとパッキンの間に
ビニールテープ等で保護したマイナス
ドライバーを差し込み取りはずす。



スヌート・ガード

注) スヌート、ガードの同時取付けはできません。

・枠を本体に取付けたまま取付けができます。



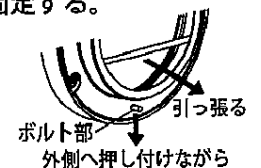
＜スヌート・ガードの取付け・取りはずしについて＞

*スヌートの場合のみ、ワイヤーを上図のように取付ける

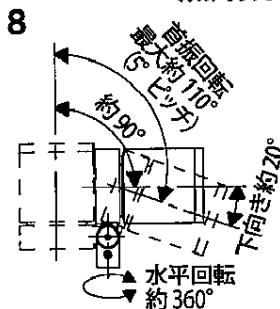
- ①固定金具 (3個) を枠凹部 (3ヶ所) へ引っ掛ける。
(仮保持状態)
- ②スヌート又はガードの穴 (3ヶ所) と固定金具を合わせ
まっすぐ押し込む。(位置が合わない場合はスヌート
又はガードの内側より指で調整してください。)
- ③ナット (3個) を締め付け確実に固定する。

・取りはずしは逆の手順で行なって
ください。

注) 万が一取りはずしにくい場合は
右図のように固定金具のボルト
先端部分を外側へ押しながら
はずしてください。



＜照射方向について＞



- ・首振、水平の両固定ネジ
をゆるめて、点灯直後
に行なう。(可動範囲は左図参照)
- ・角度調整後、六角レンチ
にて首振、水平の両固定
ネジを確実に締め付ける。

取付前の準備

- ・適合埋込ボックスを右図のように設置してください。
- ・別売の埋込ボックスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

注) 必ず排水処理管工事を行なってください。

1. 取付台を取付ける

- ・電源線を据置き台の電源穴よりひき込む。
(適合ケーブル仕上り外径: $\phi 13$ 以下)
- ・埋込ボックスに付属の六角ボルト (2個) で確実に取付ける。(締付トルク: $10 \sim 15\text{N}\cdot\text{m}$)

2. 結線ボックスを取付ける

- ・電源線を結線ボックスの電源穴より引き込む。
 - ・結線ボックスの凹部 (2ヶ所) と取付台のダボ (2個) の位置を合わせ、結線ボックスを挿入する。
 - ・付属の六角ボルトで締め付け確実に固定する。
(締付トルク: $10 \sim 15\text{N}\cdot\text{m}$)
- 不備がありますと浸水の原因となります。

3. 口出し線と電源線・アース線を接続する

- ・口出し線と電源線、アース線を圧着スリーブ等で結線後、自己融着テープと絶縁テープで十分に絶縁・防水処理を行なう。
- 【電気設備技術基準によりD種 (第3種) 接地工事が必要】
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

4. 本体をボックスに取付ける

- ・本体取付ネジ (2個) を締め付け確実に固定する。
(締付トルク: $1.5 \sim 1.7\text{N}\cdot\text{m}$)
- 不備がありますと、落下の原因となります。

5. ランプ (別売) を確実に取付ける

- ・枠取付ネジ (3個) をゆるめ、ワイヤーCで枠を仮吊り状態とする。
- ・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。
ランプのねじ込みが不十分な場合、故障・ランプ不点の原因となります。

6. リフレクター (別売) を確実に取付ける

- ・キャップを持って取付ける。
 - ・リフレクター取付ネジ (2個) をゆるめ、リフレクターのダルマ穴を通してから回転させ、凸部を乗り越えてから確実に締め付け固定する。
(締付トルク: $0.8 \sim 1.0\text{N}\cdot\text{m}$)
- 取付が不完全な場合、浸水の原因となります。

7. 枠を取付ける

- ・枠取付ネジ (3ヶ所) を六角レンチにて均等に締め付け、確実に固定する。
(締付トルク: $1.5 \sim 1.7\text{N}\cdot\text{m}$)
- 取付けが不完全な場合、落下・浸水の原因となります。

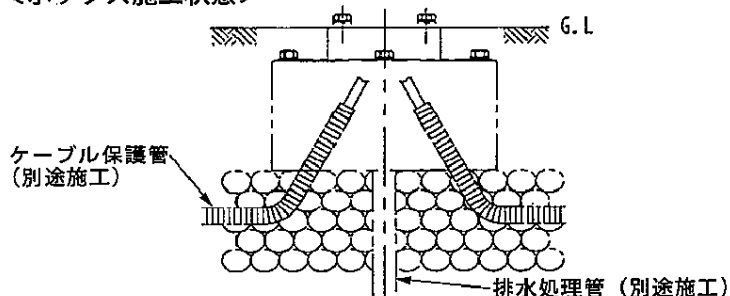
8. 照射方向を調節する

- 注) 回転範囲以上無理に回転させないでください。
火災・落下の原因となります。

- ・調整方法は左ページ「照射方向について」を参照ください。
 - ・角度調整後、六角レンチにて首振、水平両固定ネジを確実に締め付けてください。
(締付トルク: $3.0 \sim 5.0\text{N}\cdot\text{m}$)
- 締め付けが不完全な場合、灯具首タレ・回転の原因となります。

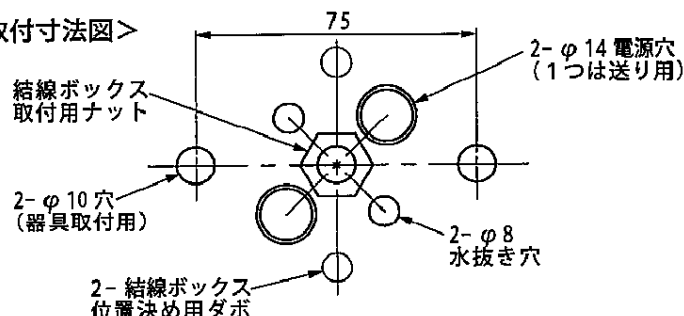
取付前の準備

<ボックス施工状態>

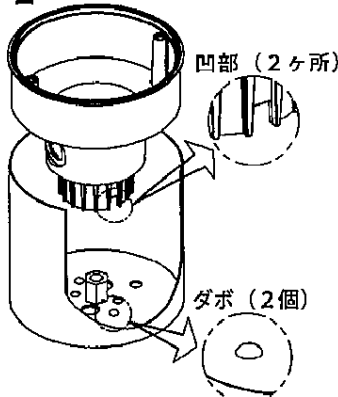


1

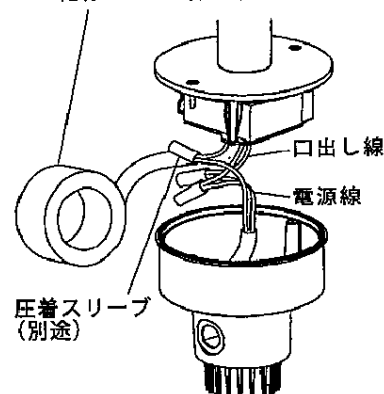
<取付寸法図>



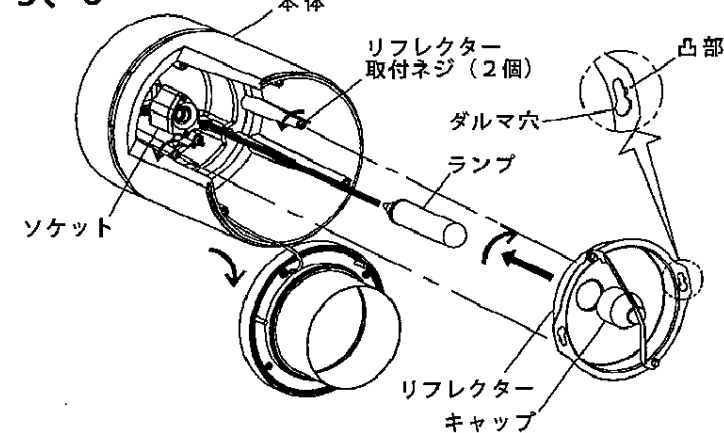
2



3 自己融着テープ (別途)
絶縁テープ (別途)



5、6



取扱説明

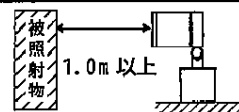
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。
火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射面は1.0m以上離す。火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行なってください。やけど・感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 点灯中のランプを消してすぐに電源を入れてから、ランプが始動するまで約20分かかります。
- ご使用中にガラスが若干白く曇る場合があります。シリコンゴムパッキンから発生する微量の揮発ガスですので柔らかい布などで拭いてからご使用ください。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

保証について

- 保証について この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年です。ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

定格

定格電圧	定格周波数	入力電流	入力電力	ランプ電力
AC100V	50Hz/60Hz専用	0.77A	77W	73W

お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。

- <器具の清掃について> ・ 水または中性洗剤を用いて、器具外郭などの汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
ホース水流で洗浄しないでください。浸水の原因となります。
- <ランプ交換について> ・ 器具表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製ランプを使用してください。



高温注意

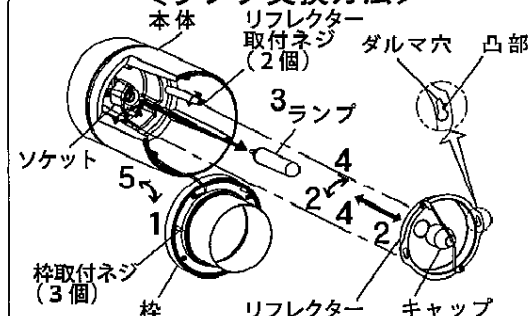
適合ランプ(指定)	色温度
MT70CE-LW29-EU	2900K
MT70CE-LW-EU	3000K
MT70CE-WW-EU	3500K
MT70CE-W-EU	4200K

⚠ 警告 指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

⚠ 注意 点灯中や消灯直後はランプや器具にさわらないでください。やけどの原因となります。



<ランプ交換方法>



1. 枠を仮吊り状態とする
・ 枠取付ネジ(3個)を六角レンチにてゆるめ、枠をワイヤー仮吊り状態とする。
2. リフレクターを取りはずす
・ リフレクター取付ネジ(2個)をゆるめ、キャップを持ち取りはずす。
3. ランプを交換する
・ ランプを最後まで確実にねじ込む。
4. リフレクターを取付ける
・ 取りはずしと逆の手順で行なう。
5. 枠を取付ける
・ 枠取付ネジ(3個)を六角レンチにて均等に締め付け、確実に固定する。
取付けが不完全な場合、落下・浸水の原因となります。
・ 万一、ランプ交換作業時に照射方向が変わってしまった場合には裏面「各部のなまえと取付け方」にしたがって調整を行なってください。

パナソニック株式会社 施設・店舗照明ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニックお客様相談センター 0120-878-365(フリーダイヤル) 0120-878-236(FAX)

OT0709-010112